

看護職員の負担軽減・処遇改善計画

■人事制度等の整備

- ・就業規則改訂
- ・等級制度・等級制度の導入
- ・給与制度の整備

■キャリアアップ支援

- ・研修制度の充実
- ・研修等奨励金貸与制度
- ・奨学金制度

■ワーク・ライフ・バランス

- ・短時間制職員精度
- ・夜勤制限職員制度
- ・フレックス制度
- ・時間単位年次有給休暇制度の導入
- ・24 時間院内保育の整備

■その他

- ・総労働時間の短縮（1 日の所定労働時間 8 時間から 7.5 時間への短縮）
- ・子育て中の夜勤者に対する職員駐車場の優先使用
- ・病院賠償責任保険に加え医療従事者（医師、看護師、コメディカル等）個人・・・賠償責任保険加入の法人費用負担
- ・職員全員にメールアドレスを付与
- ・パソコン端末における診療系と情報系ネットワークの同時使用によるグループウェアや情報共有の充実

■ベースアップ評価料による手当の新設

- ・正職員については初年度から基本給 3.8%相当金額を毎月手当として支給
- ・ベースアップ評価料非対象職員については基本給 2.5%相当金額を毎月手当として支給
- ・勤務内容や形態、実績等により支給は変動する。パート職員は時給にて手当を支給

■パート職員の契約更新は例年通り 4 月、嘱託職員は誕生月に実施

- ・人事考課、勤務実績等により、定期昇給する。時給上昇額に応じて、着替手当を増額

■看護職員と看護助手のタスクシフトの充実

- ・看護助手の患者ケアにおける役割りの増大。
- ・回復期病棟からリハビリ職員と合わせて、課題を抽出・整理し試行を開始、1年間で評価する。
- ・教育プログラムの充実、eラーニングの積極的活用

■労働安全衛生委員会と協働して、長時間労働者への指導強化

■患者サポートセンターの人員増強

- ・入退院支援の更なる充実と医師・看護職員の負担軽減

■管理栄養士職員の増員、リハビリ専任職員の協力

- ・リハビリや栄養状態、口腔・嚥下機能評価の充実と対策を強化しつつ、職員の負担を軽減

■看護業務の病棟間統一・共有化を検討

■今年度スローガンを「業務改善・効率化」とする

- ・各部署にて行動計画を策定・実施を検討する。職種・部署を越えた業務負担改善を充実させる
- ・クロス面談
- ・導入済み AI 問診システムを提供する生成 AI システムを導入する
- ・システム更新が完了したため、業務負担軽減・医療の質向上に資する院内ソフトな開発やシステム運用の効率的運用に関する指導体制を強化する
- ・昨年度の3階病棟における、看護職員と看護助手のタスクシフト試行結果は良好な結果が示され、他病棟にも拡大していく
- ・人員の効率的・重点的配置に努めると共に、部署だけではなく事業所を越えた業務支援、リリーフ、臨時人員シフトを更に強化し、人事交流を図ることで相互理解を深める
- ・年度内に各部署責任者に対する人事考課研修を実施する

以上

令和7年3月1日現在
社会医療法人慈生会
等潤病院
理事長・院長 伊藤雅史